

備前市事務事業評価表

事務事業名	山村地域等振興事業	コード	04-01-01-14
		担当課・係	吉永総合支所産業建設課
事業実施期間	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり	
	小項目(施策)	農業(農業振興地域以外の整備)	
担当者	久保山 仁也		
電話	0869-84-2513		

事業について	
目的(何のために)	農山村地域の活性化のため
対象(誰・何を対象に)	山村振興地域(神根、三国地区)
内容	地域の活性化を図るため、地域の特性を活かしたイベントを開催し、農林産物の展示販売を通じ地域PR及び県内外からの来訪者との交流を深める。

事業の結果			
実施項目	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
開催数	1回	1回	
事業費(単位:千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 773 補助金等	直接事業費 400 補助金等	直接事業費 0 補助金等
	人件費 2,190 委託費負担	人件費 2,618 委託費負担	人件費 0 委託費負担
	合計 2,963 一般財源等	合計 3,018 一般財源等	合計 0 一般財源等

必要人員	0.25人	0.28人	
結果指標	結果指標名	結果指標量	対前年比
	集客数	2,000	90.00%
	単位	人	
	活動にかかるコスト	2,963,000円	3,018,000円
	単位当たりコスト	1,481円	1,677円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	イベントを通じ過疎化の進んだ地域を活性化させ、県内外からの集客数を増やすため。		
成果指標名	対前年集客比	式又は説明	前年度との集客比の比較
	17年度	18年度	
成果指標量	1	0.9	
対前年比	-	90.00%	0.00%
到達目標値	1割増	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等: 公営住宅法・備前市公営住宅条例)	妥当性評価<A~E> C
対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	合併以前より年1回開催している。県内外からの来客はあるが、マンネリ化している。しかし、予算は毎年減少し現状維持も難しくなっている。
市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 県・国又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	平成19年度より、交流まつり運営委員会を立上げ、外部団体に委託し、事務の効率を図る。
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	地域活性化のために必要であり、有効な手段である。

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	平成19年度より交流まつり実行委員会を設立し、外部委託により事務効率を目指す。
----------	---	--	----	---

目標値	結果指標量	結果指標量
成果指標量		

総合評価	地域活性化のために必要な行事であるが、現在の財政難による予算の減額はまつりの存亡に関わる。	評価区分<A~E> C
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	外部団体に委託	平成19年度	事務の効率化